

学校法人 薬師の杜学園 山形美容専門学校

平成30年度

学校関係者評価報告書

## 平成30年度 学校関係者評価報告書

平成30年度 学校関係者評価委員会

開催日時：平成31年3月14日(木) 13:00～16:00

会場：山形美容専門学校 1階 図書室

出席者：〔外部委員〕小幡 知之(山形工科短期大学学長)

鈴木 啓司(元山形県私立学校総連合会 事務局長)

木村 奈巳子(美容室経営者)

〔委員〕 志田俊雄(理事長)、高橋朝子(校長)、齋藤明子(教頭)、

小山俊夫(事務局長)、小鹿美香子(教務主任)、小林さとみ(教務主任)

計9名

実施方法：外部委員に自己評価報告書を通覧いただき、意見を聴取した

### — 評価項目毎の学校関係者評価・意見 —

#### 項目1 教育理念・目標・育成人材像

- ・ 理念である「心の化粧」自分の心を磨くということは素晴らしいことだが、それを学則等で謳うことは当然なことである。それを式典や授業の中で噛み砕いて学生に繰り返し伝えることが大切だと思う。
- ・ 学生募集も厳しくなっている中、学校の将来構想も時代とともに変化が必要と考える。
- ・ カリキュラムの見直しも考えるとあるが、具体的にどうするかを改善策に加えたほうがよい。

#### 項目2 学校運営

- ・ 事務局長より「運営組織、人事、給与に関する制度」に対し、元々は組合立の学校で組合の規定を代用していた経緯があり、学校法人になってから少しずつ改善してきたが、まだ改善の必要もある。との説明に運営状況、経営状況もあるしなかなか変更は難しいという意見があった。

#### 項目3 教育活動

- ・ 自己評価の課題、改善策が漠然としているためもう少し、具体例をあげて作成してはどうか。
- ・ 実践的な授業が少ない理由として、サロン側の受入れの問題もあると思うが、中学や高校でも現場体験をしている中取り入れていったほうが良いとの意見がでた。

- ・ 卒業生や就職先からの意見をアンケート等で聞き取り調査をし、今後のカリキュラム作成に活かしていければよいのでは。

#### 項目 4 学修成果

- ・ 資格取得率の低下が見られるのは、検定試験などの重要性を感じていない学生が多くなっている理由があるのに対し、学生だけでなく今の若者は自分のお金や時間を費やし付加価値をつける事に抵抗を感じているようだという意見が出た。
- ・ コンテスト等の出場も同じ現象になっている。
- ・ 離職調査等は引き続き行った方が良いとの事。

#### 項目 5 学生支援

- ・ 自己評価の課題、改善策の文言の指摘を受ける。
- ・ 『教育活動』でもあったとおり卒業生からの情報収集を行っていく方向で動いてはどうか。
- ・ 今までで行っている支援について継続して行ってほしい。

#### 項目 6 教育環境

[外部委員の方には会を始める前に施設内を見学してもらった上で意見を頂いた。]

- ・ 衛生に携わる職業であるので食事を取る場所を実習した所ではなく、他の場所が確保できればよいのでは。
- ・ 同じ建物の中に3団体が共存しているため、共有するスペースと分けなければならぬ場所をきちんとすべき。

#### 項目 7 学生の受入れ募集

- ・ 学生募集については適性に行われている。
- ・ 小幡先生より山形工科短期大学の例も聞き参考にする。

#### 項目 8 財務

- ・ 現状問題なしと考え、適性と認識する。
- ・ 公認会計士はいるものの運営の指導まではしてもらえないため、学校内部で考えていかなければならない。

#### 項目 9 法令等の遵守

- ・ 法令等の遵守は当然の義務であり、これからも徹底が必要。

## 項目 10 社会貢献・地域貢献

- ・ ボランティア活動等社会に貢献できることは大変よいことだと思うので、是非続けてほしい。
- ・ ボランティア活動等自己評価項目に、具体的に示してはかがか。
- ・ 以前やっていた他校との合同ファッションショーも地域活性化のためによかったと思う。

## 所見

今回第 1 回目の学校関係者評価委員会だったが、外部委員の貴重な意見が聴けて大変参考となった。

自己評価のつくり方も自己満足にならないように、外部者から見ても分かるように具体例を挙げながら作成していかなければならないと思った。